

# 青少年のスマートフォン等情報通信機器の 利用に関するアンケート調査結果



令和3(2021)年12月  
士別市青少年指導センター

「情報通信機器」～スマートフォンや携帯電話をはじめ、タブレット、パソコン、インターネットにつながるゲーム機や音楽プレーヤーなど、インターネットを利用できる機器を指します。

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査の結果	
1	児童生徒アンケートの状況	
(1)	情報通信機器の所有状況	2
(2)	専用使用または共用使用している情報通信機器の種類	2
(3)	情報通信機器所有率の比較	3
(4)	児童生徒が専有している情報通信機器の割合	3
(5)	学校授業以外での情報通信機器の利用時間	4
(6)	情報通信機器の利用時間の比較（平日・休日）	4
(7)	情報通信機器の利用時間の比較（前回・全国）	5
(8)	情報通信機器の利用内容	5
(9)	インターネットトラブルの経験の状況	6
(10)	フィルタリングやペアレンタルコントロールの設定状況	6
(11)	情報通信機器の利用に関する家庭内のルール	
①	家庭内ルールの有無	7
②	家庭内ルールの内容	7
③	家庭内ルールの順守状況	8
2	保護者アンケートの状況	
(1)	お子さんの情報通信機器の所有状況	9
(2)	お子さんが専用使用または共用使用している情報通信機器の種類	9
(3)	お子さんに情報通信機器を持たせた理由	10
(4)	お子さんが情報通信機器を一人で使い始めた学齢	10
(5)	お子さんのインターネットトラブル経験の状況	11
(6)	お子さんの情報通信機器のフィルタリングや ペアレンタルコントロールの設定状況	11
(7)	情報通信機器の利用に関する家庭内のルール	
①	家庭内ルールの有無	11
②	家庭内ルールの内容	12
③	家庭内ルールの順守状況	12
3	児童生徒アンケートと保護者アンケートの比較	
(1)	情報通信機器の所有状況	13
(2)	インターネットトラブルの経験の状況	13
(3)	フィルタリングやペアレンタルコントロールの設定状況	14
(4)	家庭内ルールの有無	14
4	家庭でのオンライン学習に関するアンケート	15
III	まとめ	16
IV	資料	
(1)	児童生徒アンケート	17
(2)	保護者アンケート	19
(3)	『青少年健全育成に関する標語』入賞作品	21

# I 調査の概要

## 1 調査目的

情報通信機器の急速な普及により、多くの世代にとってインターネットの利用が日常化・常態化しており、青少年にとっても同様となっています。情報通信機器は、便利なツールである一方、その利用のあり方によっては、有害情報に触れる可能性はもとより、犯罪に巻き込まれる場合もあるほか、自身が犯罪の加害者になることもあり得ます。

青少年の健全育成に向けては、情報通信機器との望ましい関わりを推奨することが必須であり、こうしたことから、その情報通信機器の所有状況や活用の内容など実態を把握するため、児童生徒及びその保護者を対象に所有や使用に関わる実態等のアンケート調査を実施しました。

本調査の結果をもとに、青少年指導センターや関係機関における青少年健全育成に関する啓発活動や家庭教育推進活動の一層の充実を図ることを目的としています。

## 2 調査対象

市内小学5年生・6年生、中学1年生・2年生・3年生の児童生徒、及びその保護者

## 3 調査期間

令和3(2021)年7月1日～7月21日

## 4 調査方法

児童生徒の調査にあたっては、学校で使用している端末を活用し、グーグルフォームによって回答する方法としました。なお、各学校の協力のもと、朝の会や学活の時間などを活用して実施しました。

保護者については、各学校を通じて依頼文書を配布し、家庭の端末等で2次元バーコードの読み取りなどのもと、グーグルフォームによって回答を得ました。

## 5 調査実施状況

学年	対象児童 生徒数	児童・生徒		保護者	
		回答数	回答率(前回)	回答数	回答率(前回)
小学生	246人	230人	93.5%(87.9%)	132人	53.7%(80.2%)
中学生	399人	371人	93.0%(67.4%)	203人	50.9%(67.6%)
合計	645人	601人	93.2%(75.4%)	335人	51.9%(72.6%)

## 6 前回調査・全国調査との比較

前回の令和元(2019)年の調査から、新たに追加した項目や一部内容を変更した項目のほか、選択肢を見直した項目もありますが、前回調査と比較することにより、傾向分析に有効になると判断した項目については、グラフを併記するなどして、できるだけ比較検討しやすいよう工夫しました。また、全国調査との比較については、今回の本市アンケートの設問項目と表現が若干異なる場合もあります。おおまかな傾向を知るためにも、必要に応じてその一部を掲載しました。

## 7 参考とした資料

全国…令和2年度青少年のインターネット利用環境実態調査(令和3年3月 内閣府)

※小学生は、調査範囲学年が異なる(全国調査では、小学4～6年生)ため、中学生を比較するものとします。

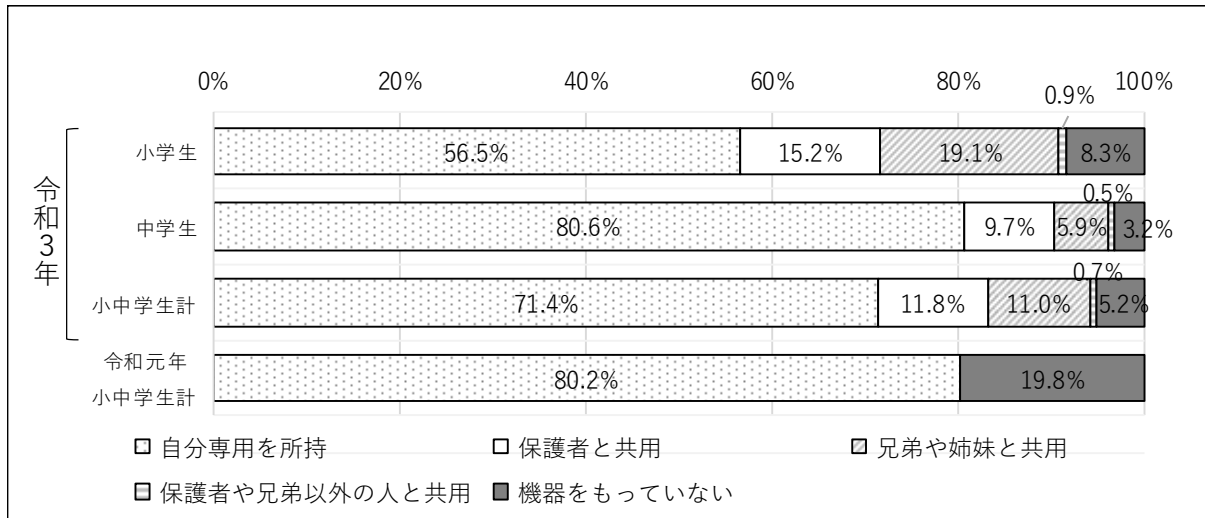
## 8 その他

回答の割合については、データの四捨五入等によって、合計が100%にならないことがあります。

## II 調査の結果

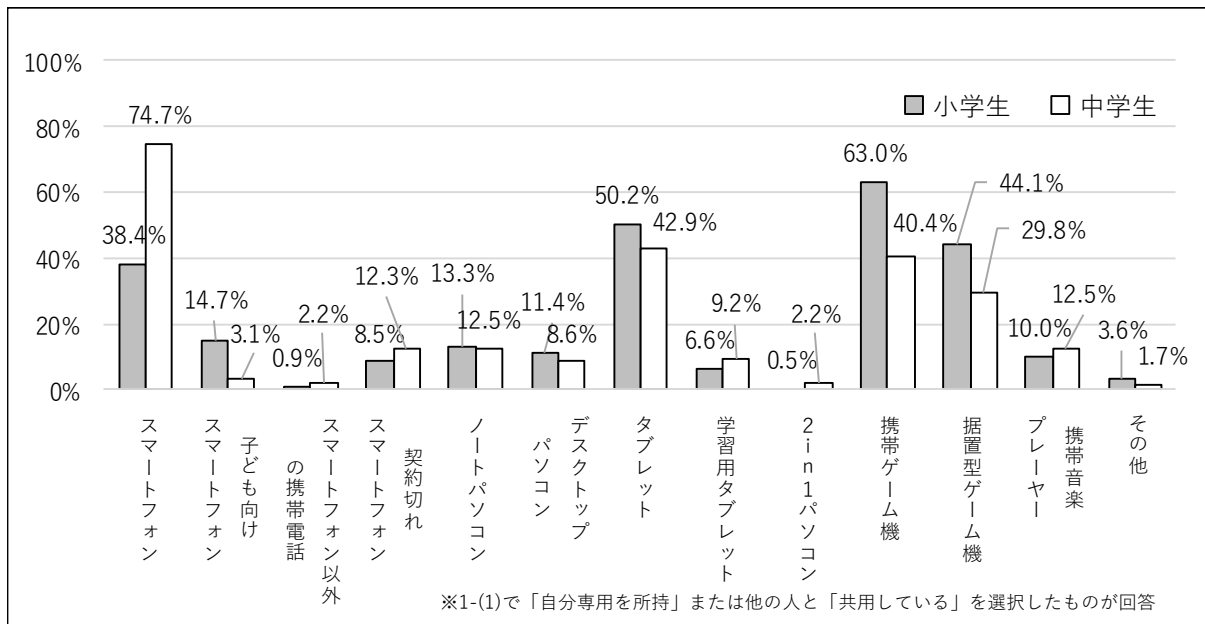
### 1 児童生徒アンケートの状況

#### (1) 情報通信機器の所有状況



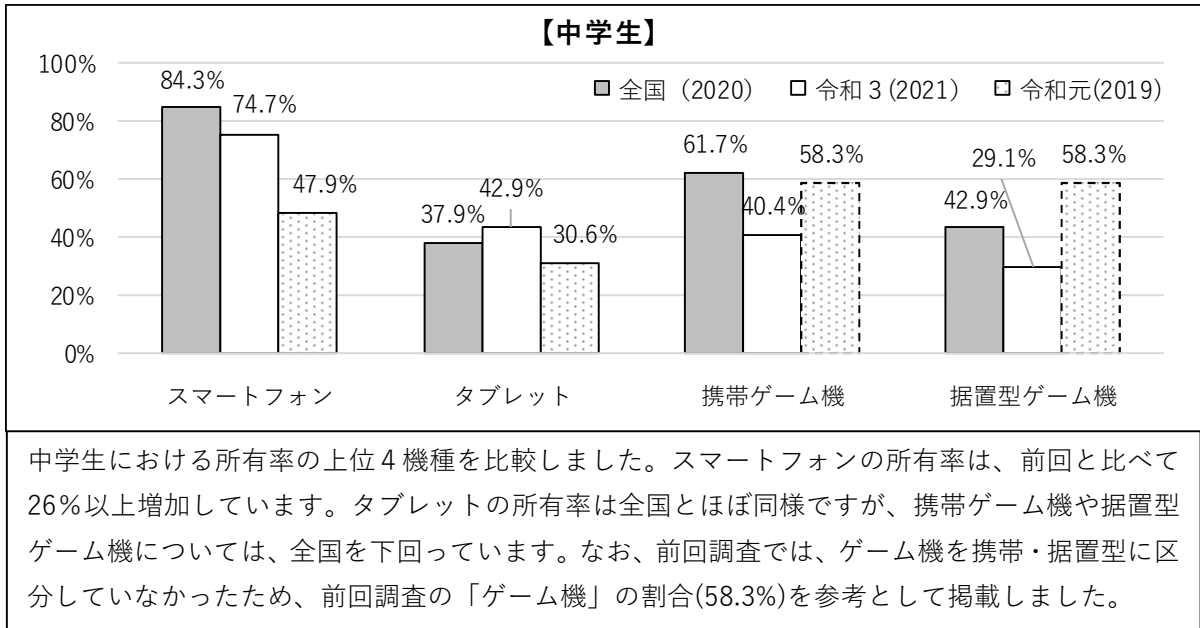
94.9%の児童生徒が、何らかの情報通信機器を「専用」または「共用」で所有・使用しています。令和元年のアンケートでは、選択肢は情報通信機器を「持っている」または「持っていない」の2択としていましたが、その観点から比較した場合の児童生徒の所有割合は増加傾向にあるといえます。

#### (2) 専用使用または共用使用している情報通信機器の種類

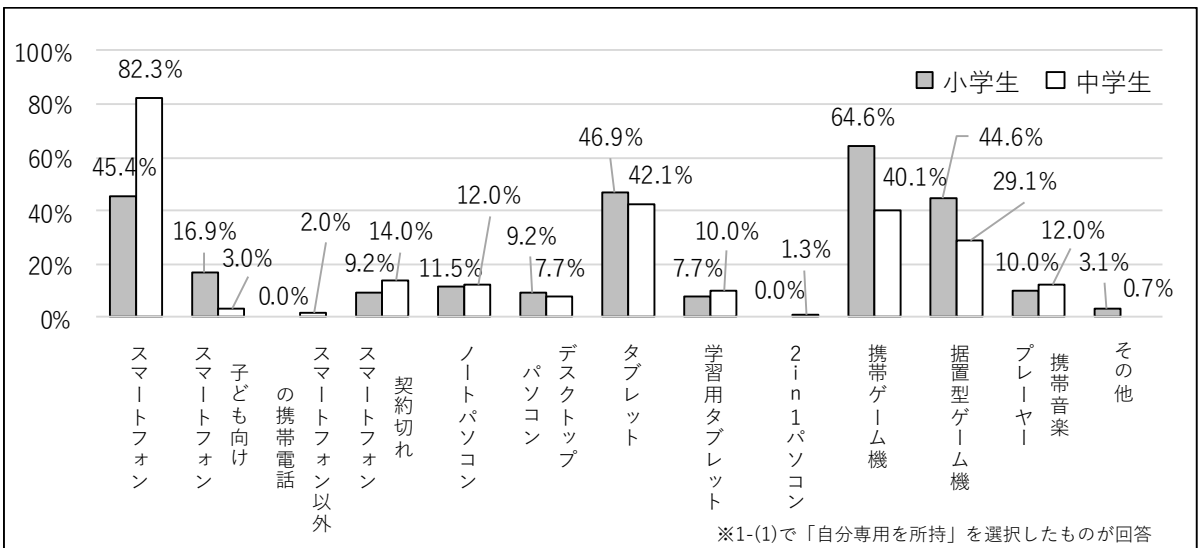


スマートフォンやタブレット、携帯ゲーム機など、持ち歩くことのできる機器の所有割合が高い傾向にあります。小学生では、携帯ゲーム機やタブレットの所有割合が高い一方、中学生はスマートフォンの割合が最も高くなっています。

### (3) 情報通信機器所有率の比較

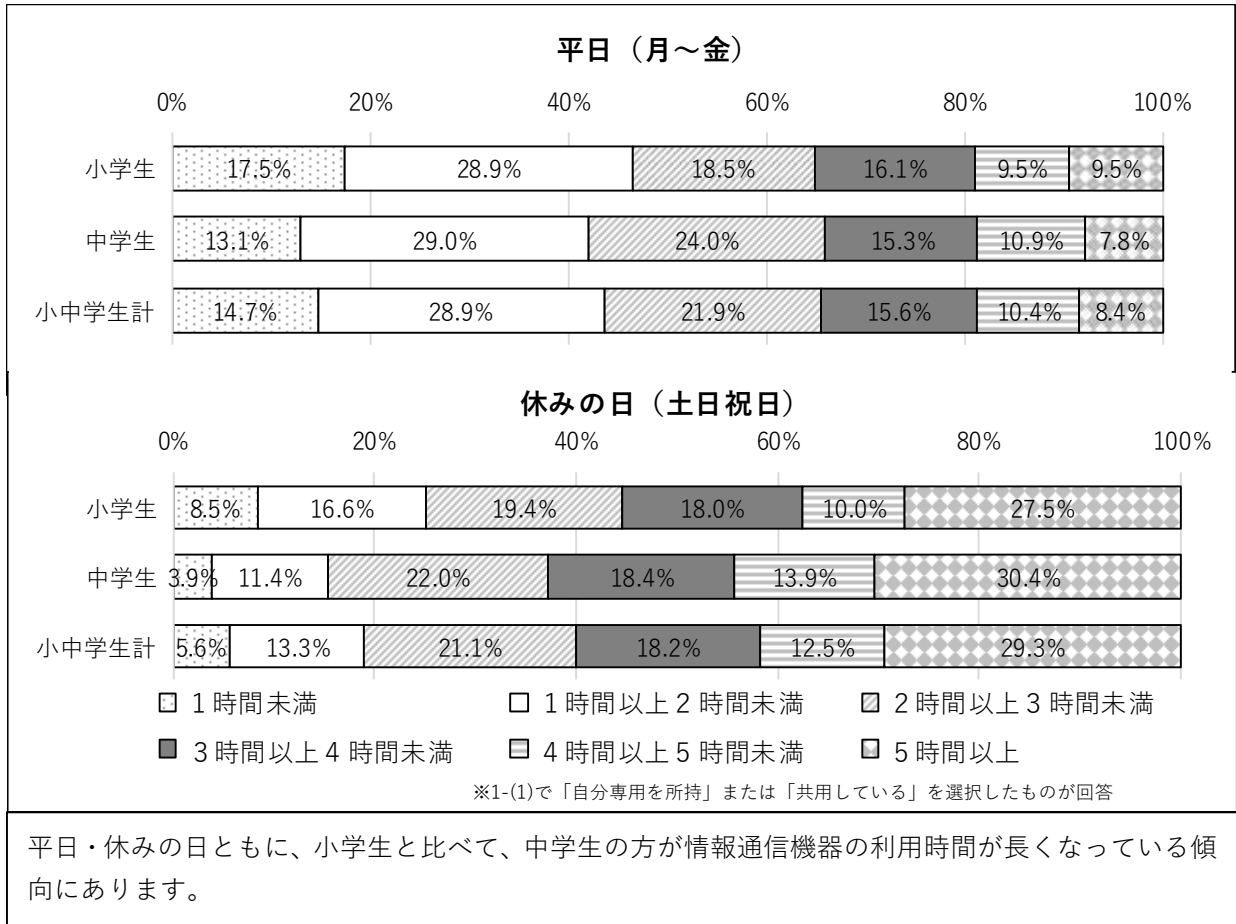


### (4) 児童生徒が専有している情報通信機器の割合

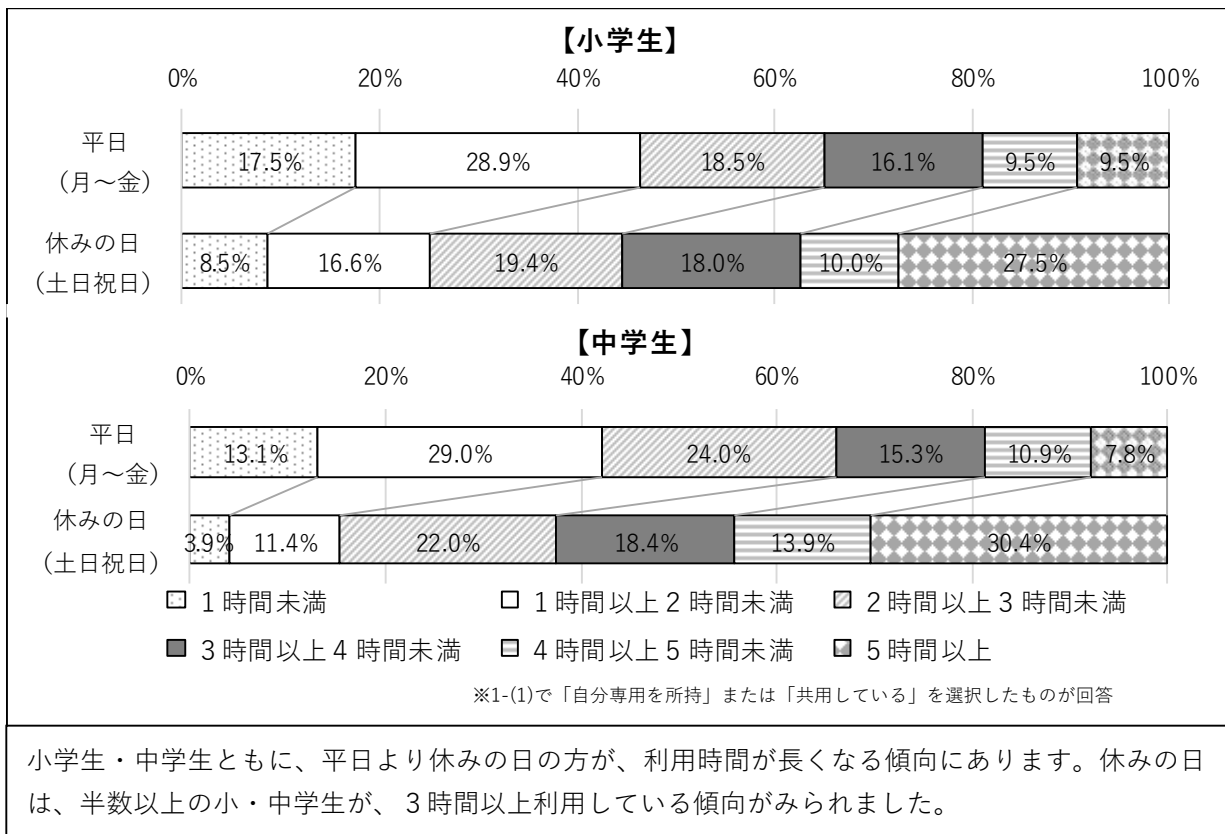


児童生徒が専有している情報通信機器は、スマートフォンが小学生で45%、中学生で82%が所有していると回答しています。また、小学生においても、ゲーム機やタブレットの専用での所有割合が40%を超えています。※その他の記述…キッズケータイ。スイッチ。3DS。DS。

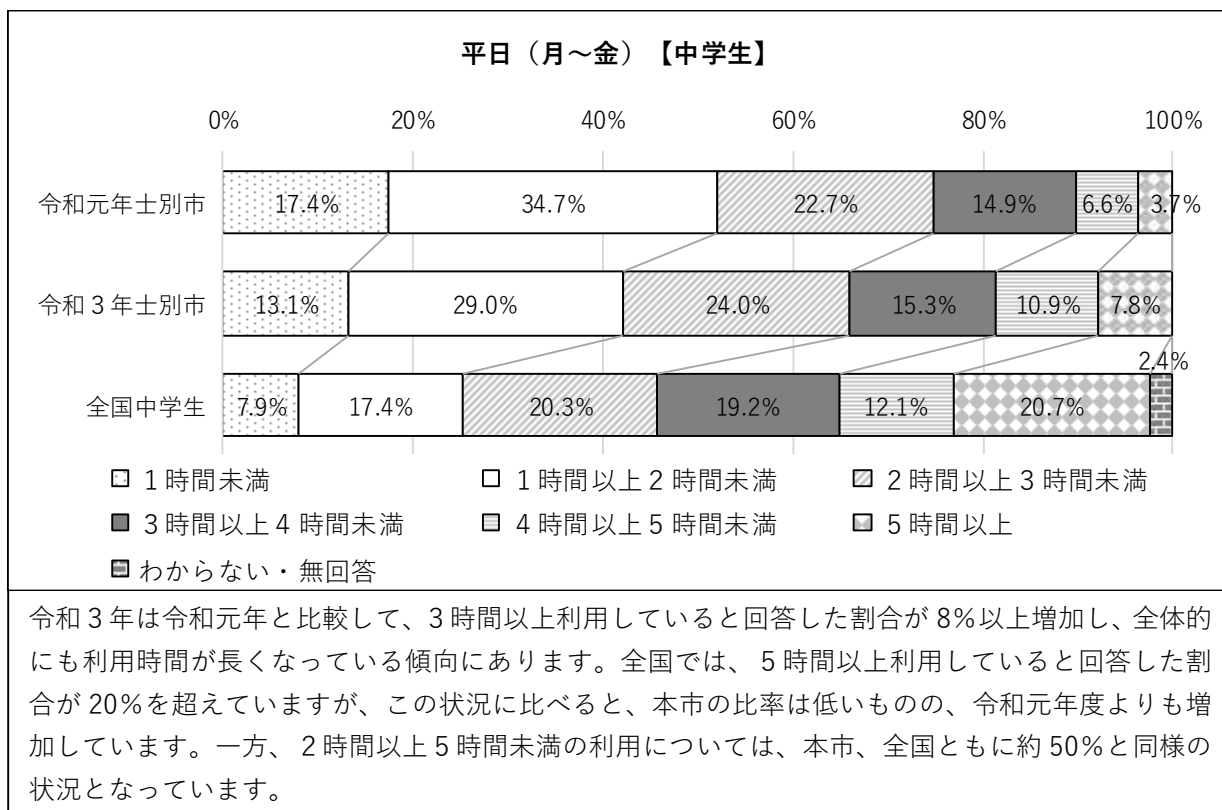
### (5) 学校授業以外での情報通信機器の利用時間



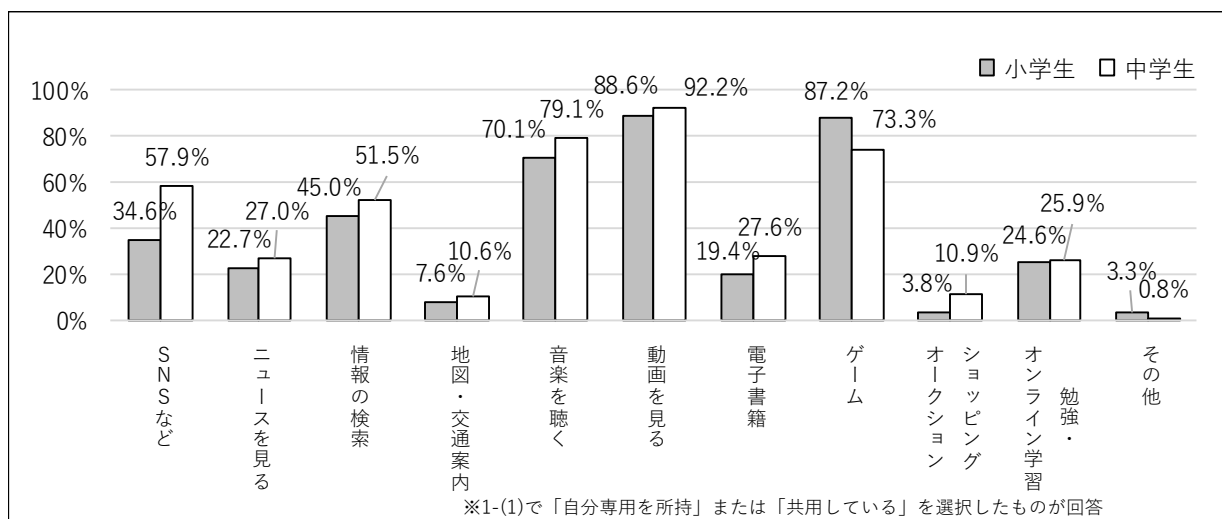
### (6) 情報通信機器の利用時間の比較（平日・休日）



## (7) 情報通信機器の利用時間の比較（前回・全国）

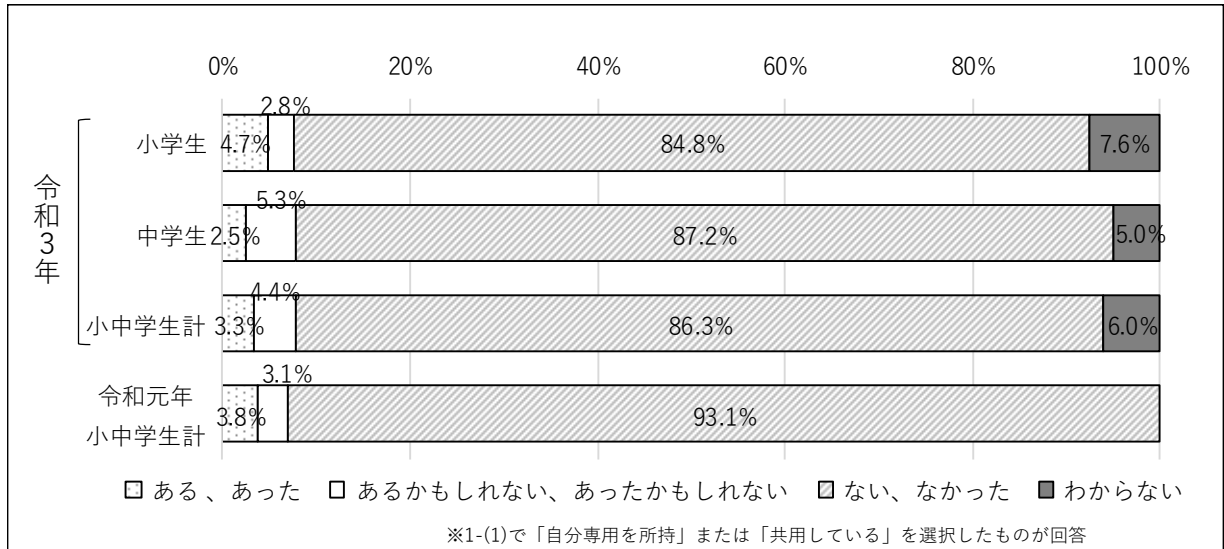


## (8) 情報通信機器の利用内容



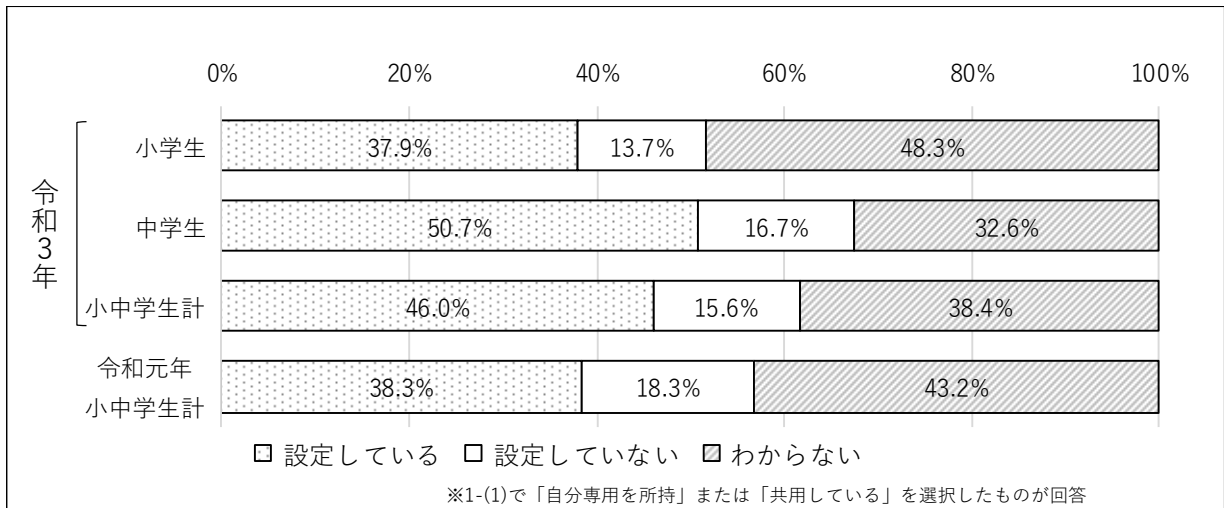
小学生・中学生ともに、「動画を見る」、「ゲーム」、「音楽を聴く」と回答した割合が高い傾向にあります。中学生では、そのほかに「SNS」や「情報の検索」などでの利用が多くなるなど、学校種が上がるにつれて活用の幅が広がっている傾向が伺えます。※その他の記述…家族と電話・メールをしている。ラジオを聞く。動画投稿。家族でLINEをする。写真をみる。写真を撮る。しらべもの。お母さんやお父さんと電話。など

### (9) インターネットトラブルの経験の状況



令和元年と比べて、「ある、あった」「あるかもしれない、あったかもしれない」の割合がわずかながら増加しています。 ※令和3年のアンケートから、「わからない」の選択肢を追加しています。

### (10) フィルタリングやペアレンタルコントロールの設定状況

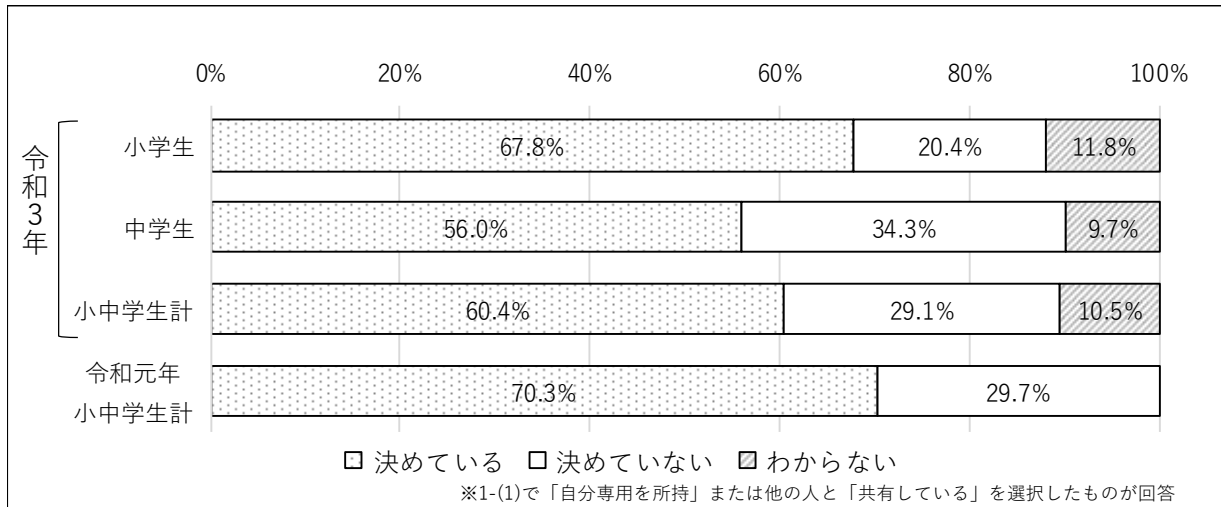


令和3年は、フィルタリング（有害なサイトに接触しないためのサービス）に加え、ペアレンタルコントロール（年齢制限をかけるなど）の設定についても設問に追加しました。前回と比べ「設定している」と回答した割合が約8%増加しています。一方で、「わからない」と回答した割合は、小学生で約半数、中学生を加えても、その割合は約40%程度にとどまっています。



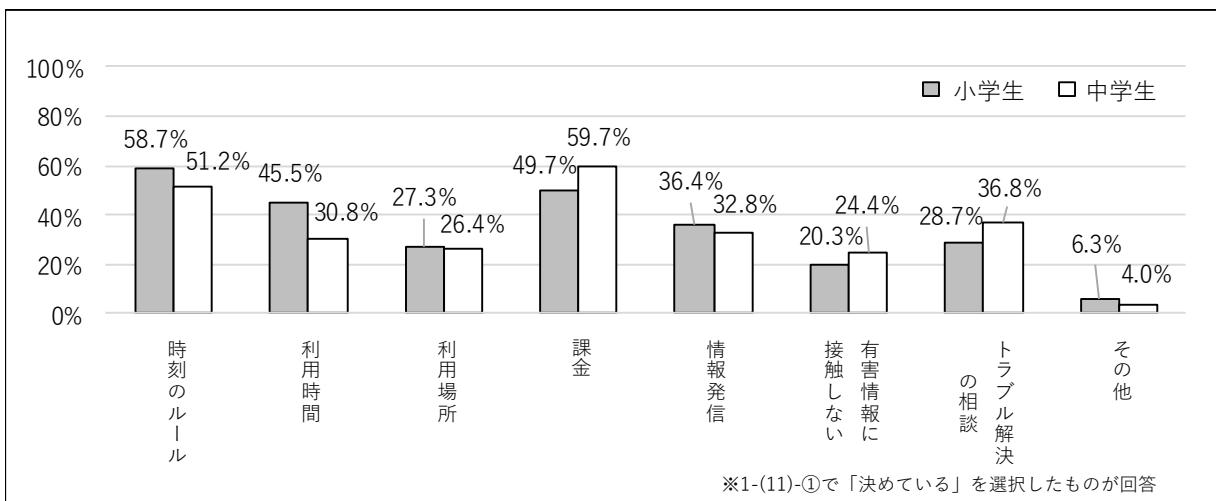
## (11) 情報通信機器の利用に関する家庭内のルール

### ①家庭内ルールの有無



家庭内ルールを「決めている」と回答した割合は、令和元年と比べて約10%減少しており、拘束なく利用している子どもが増えている状況にあります。 ※令和3年のアンケートから、「わからない」の選択肢を追加しています。

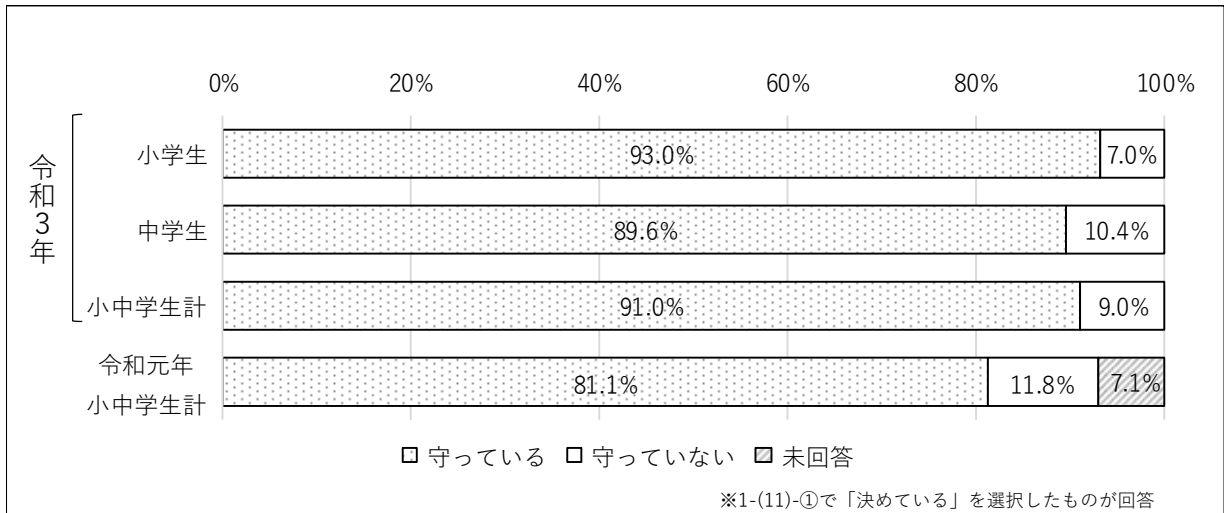
### ②家庭内ルールの内容



小学生で「時刻のルール」、中学生で「課金」と回答した割合がもっとも高く、「利用時間」や「情報発信」についての割合も高い傾向にあります。

※その他の記述…アプリを勝手にいれない。特にテスト前などは勉強をしなかったらスマホ没収。なにかするときは親に伝える。話すゲームは9時まで。勉強をしてから。やることをやってから。出かけるときに持っていく。将来のため。7時半までに風呂入ってれば9時まで。家事をきちんとする。コメントを打たない。やりすぎたときに一週間使えなくなる。一時間以内（利用時間）、食事中は使わない。友達とラインをしない。など

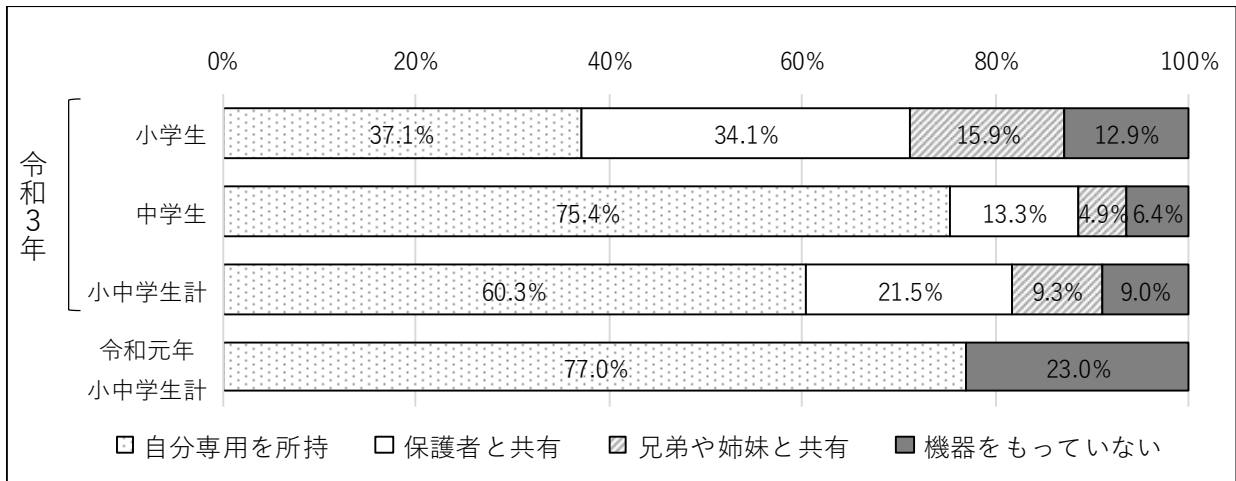
### ③家庭内ルールの順守状況



小学生・中学生ともに、約90%は、家庭内ルールを「守っている」と回答しており、前回調査から約10%増加していますが、「①家庭内ルールの有無」で、家庭内ルールを決めている割合が10%低下していることから、この点での改善が求められます。

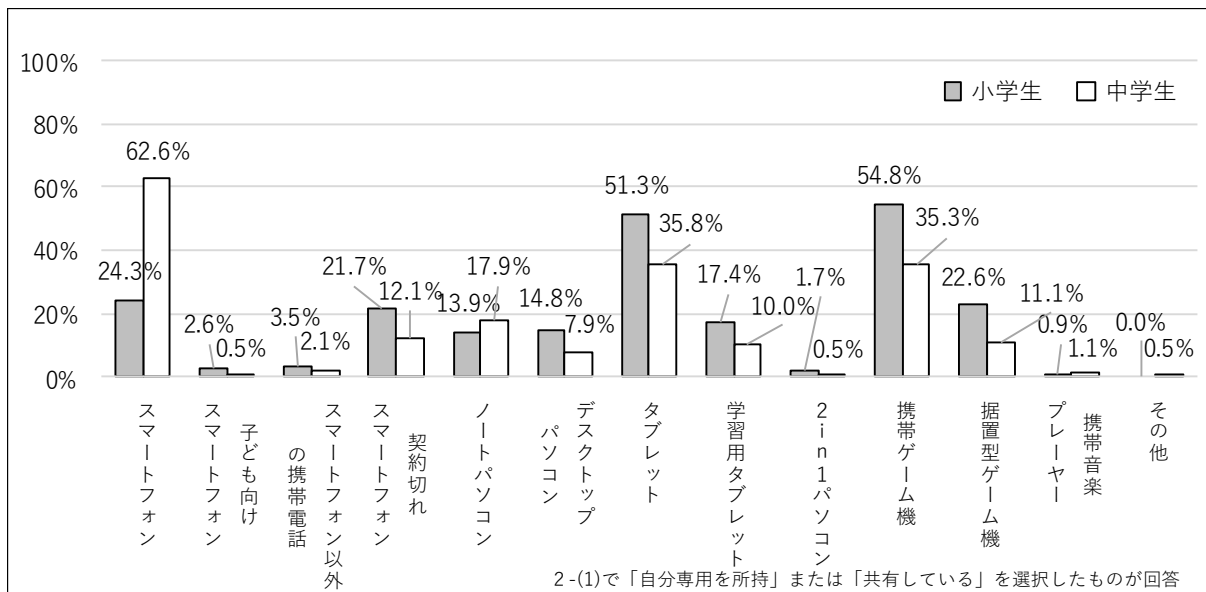
## 2 保護者アンケートの状況

### (1) お子さんの情報通信機器の所有状況



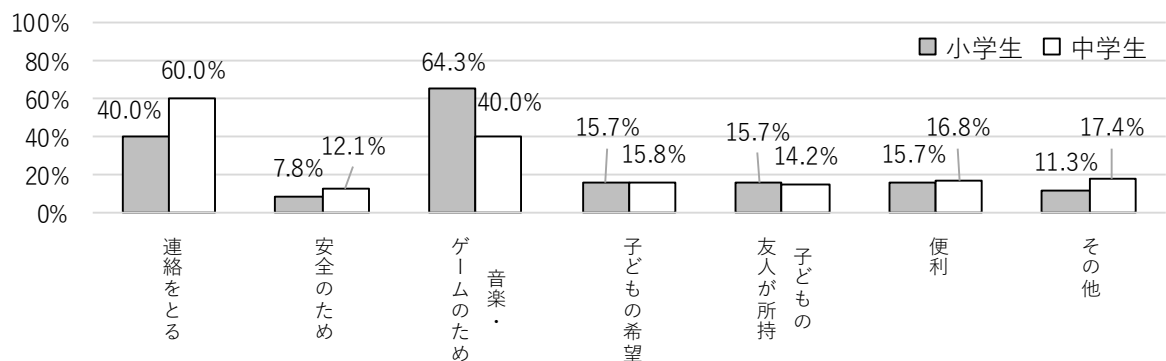
小学生の保護者の約40%、中学生の保護者の70%以上は、子どもが自分専用の情報通信機器を「所持している」と回答しています。令和元年のアンケートでの選択肢は、情報通信機器を「持っている」または「持っていない」の2択としていましたが、令和3年は「機器の共有」についても回答に追加しました。小学生・中学生ともに、機器を使える状況は増加傾向にあります。

### (2) お子さんが専用使用または共用使用している情報通信機器の種類



小学生は「携帯ゲーム機」「タブレット」を持っていると回答した割合が高く、中学生になると「スマートフォン」の所有割合が高くなっています。

### (3) お子さんに情報通信機器を持たせた理由

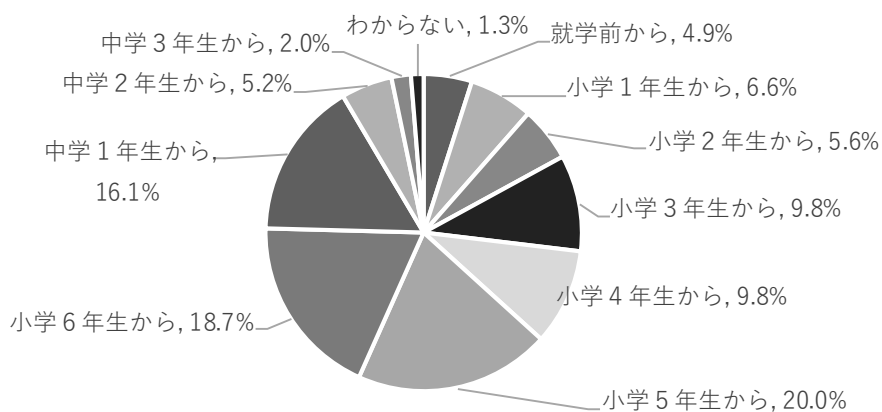


2-(1)で「自分専用を所持」または「共有している」を選択したものが回答

小学生・中学生の保護者は、情報通信機器を持たせた主な理由として「連絡をとる」「音楽・ゲーム」と回答している割合が高くなっています。

その他の記述…もともと家庭用にあったものをテレビや動画をみるだけなら使ってもよいと考えた。子どものコミュニティにおいて携帯電話が必要となった。頂いた。学習に必要な。タブレット学習。クラス LINE など学校関係の連絡ツールとして必要。学習用アプリ利用。通信機器に慣れる。プログラミングの授業が始まる。情報入手。オンライン学習をする。部活の連絡をとる。早い段階からインターネットの使い方を教える。調べ物がすぐできる。みんなが持ち始め欲しがり仕方なく。子の父親が用意して与えた。勉強用として。使い方を覚える。学習アプリをとる。タブレットを使って学習したいと希望した。学校で使うといわれた。勝手に購入。部活の連絡。学校で必要だったから購入した。勉強のための情報収集。操作に慣れる。習い事の送迎。アプリで勉強。プログラミングの学習に供する。兄のお下がり。調べものができる。子供同士の LINE グループに参加するため。友達と LINE をする・Google 検索をする。学習・音楽、調べ物をする。LINE で友達と連絡をとる。友達との連絡手段。コロナにて Zoom などできるように。勉強・講習。学習。LINE をする。子供たち同士の連絡用に。など

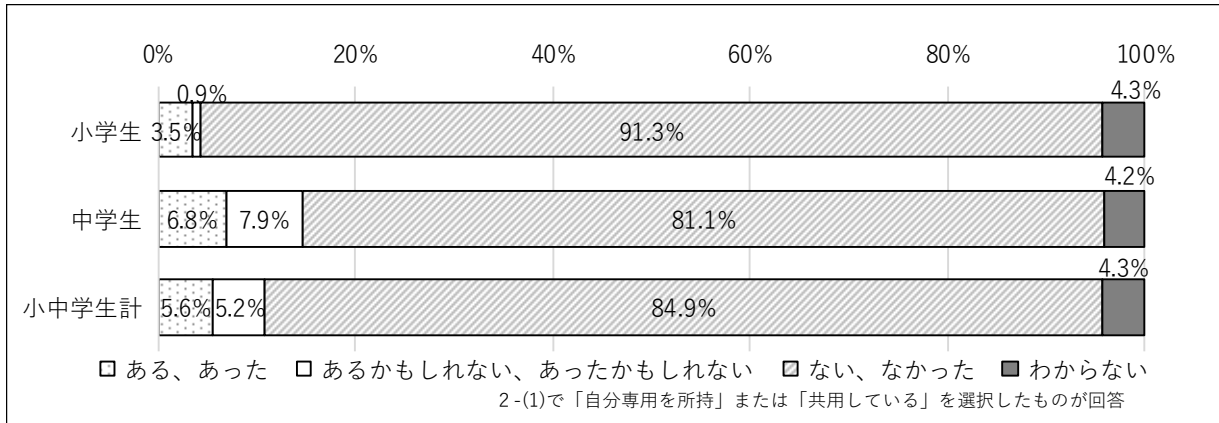
### (4) お子さんが情報通信機器を一人で使い始めた学齢



2-(1)で「自分専用を所持」または「共有している」を選択したものが回答

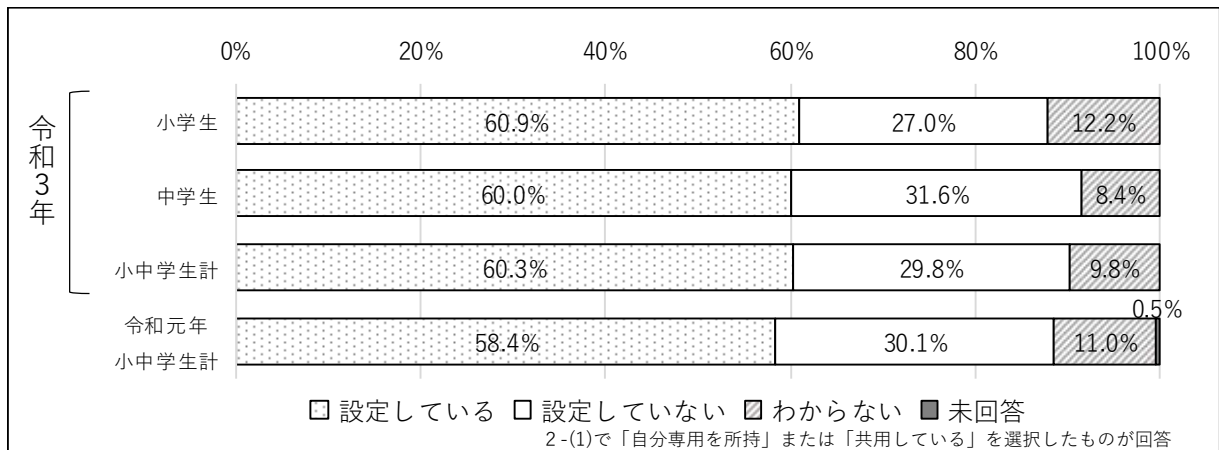
「小学6年生までの間に情報通信機器を一人で使い始めている」と回答した割合が75.4%となっています。また、就学前から一人で使い始めていると回答した割合が5%となっています。

## (5) お子さんのインターネットトラブル経験の状況



「ある、あった」「あるかもしれない、あったかもしれない」の割合が、中学生の保護者は小学生の保護者と比べて約10%高くなっています。

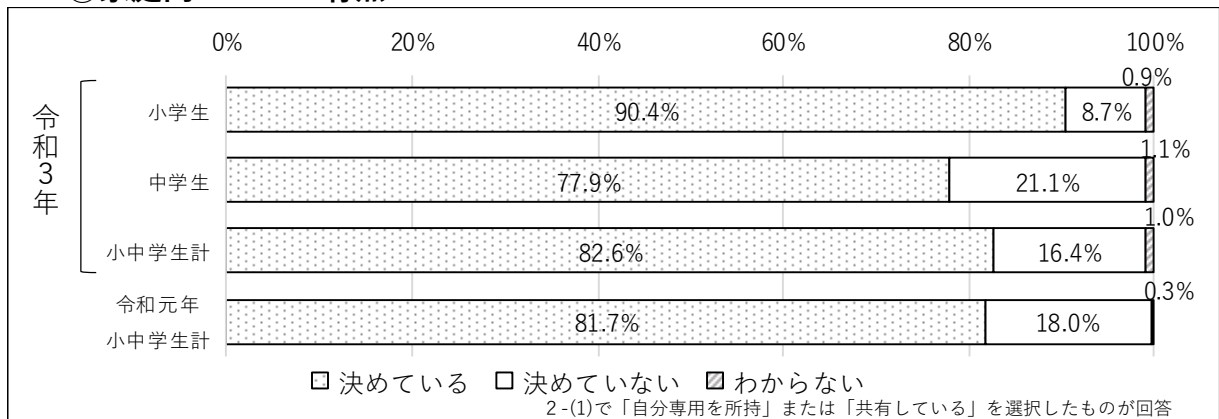
## (6) お子さんの情報通信機器のフィルタリングやペアレンタルコントロールの設定状況



小学生・中学生の保護者で「子どもが情報通信機器を所有している」と回答したもののうち、約60%の保護者がフィルタリングを「設定している」と回答しています。一方で、フィルタリング設定状況が「わからない」と回答した割合が約10%となっており、改善が求められます。

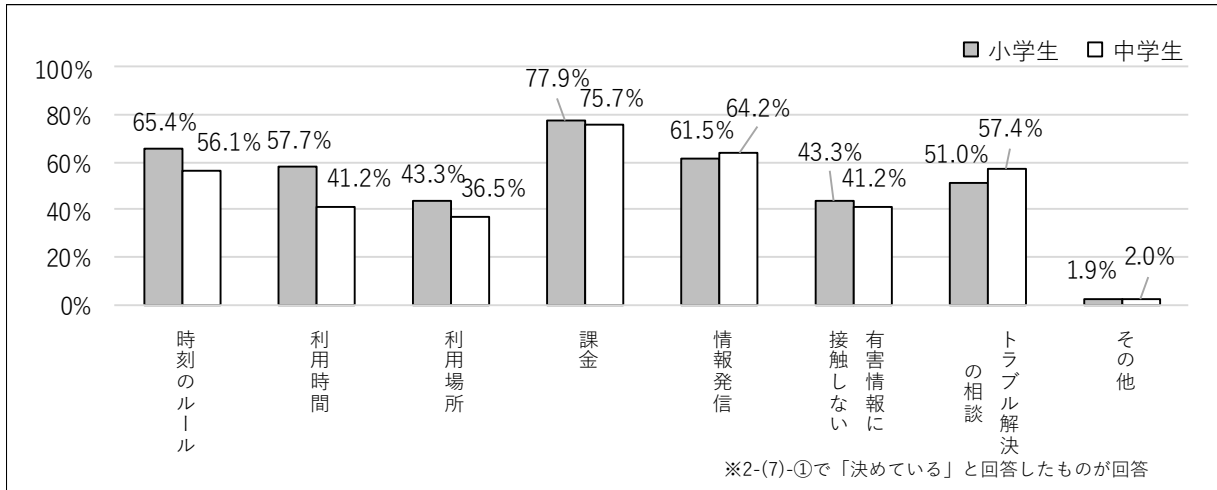
## (7) 情報通信機器の利用に関する家庭内のルール

### ① 家庭内ルールの有無



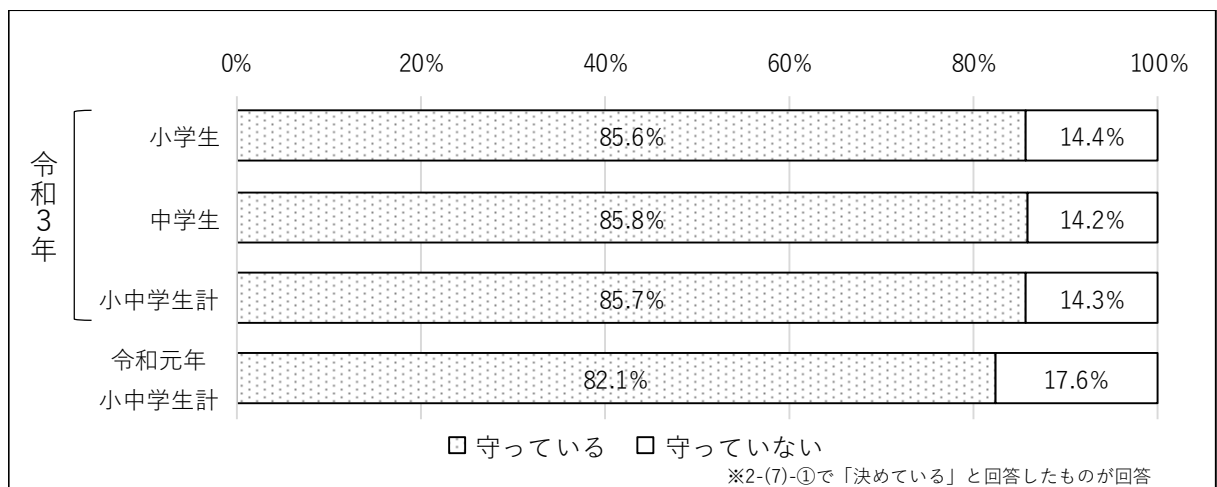
中学生の保護者の約21%が家庭内ルールを「決めていない」と回答しており、令和元年と比較しても、同様の状況にあるなかで、一定のルールを設けることが望ましいものと考えます。

## ②家庭内ルールの内容



「課金」(利用料についてのルール)、「時刻のルール」、「情報発信」、「トラブル解決の相談」などが多く、加えて家庭内のルールの項目としては、複数の項目をルール化している割合が高い傾向にあります。小学生では、これらの他に「利用時間」と回答した割合が半数を超えています。その他の記述…オンラインゲームはやらせていない。SNS もやらせていない。今はゲームの時間や場所のルールのみです。平日は使用しない。時間制限をかける。食事中は使用しない。外には持ち出さない。など

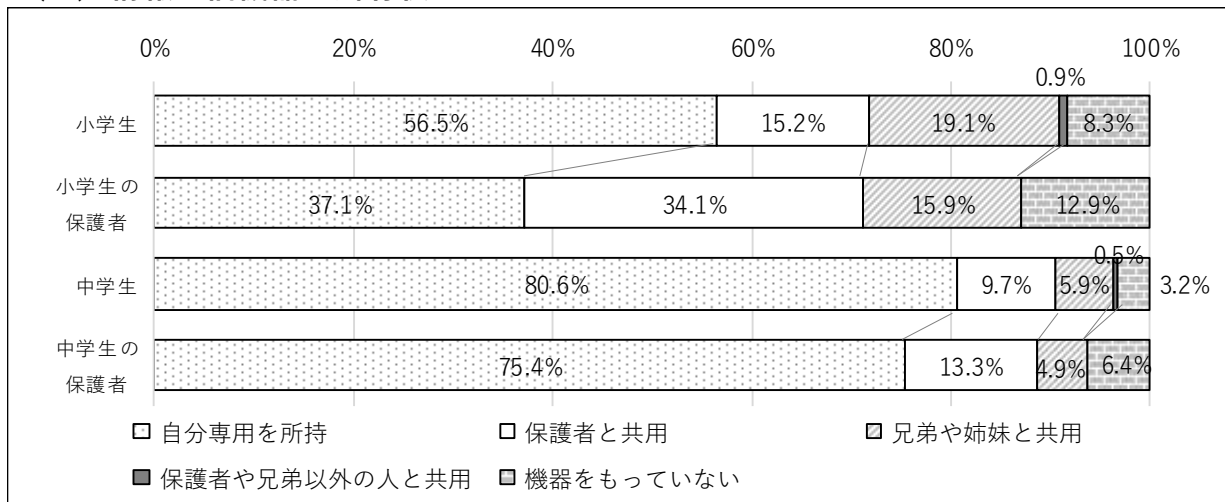
## ③家庭内ルールの順守状況



家庭内のルールを「守っている」と回答した割合は 85% を超え、前回と比べ約 3% 高い割合となりました。

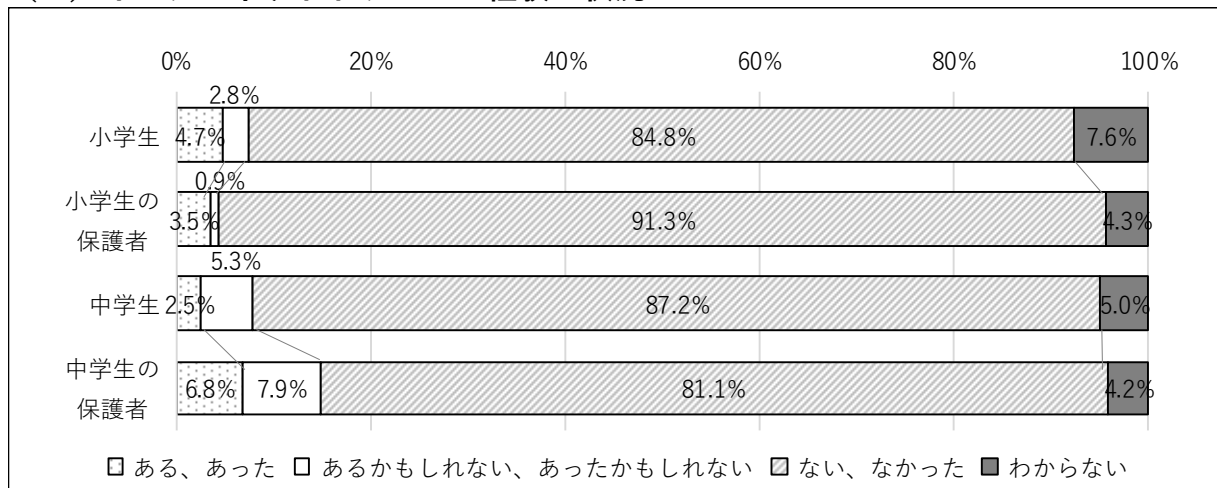
### 3 児童生徒アンケートと保護者アンケートの比較

#### (1) 情報通信機器の所有状況



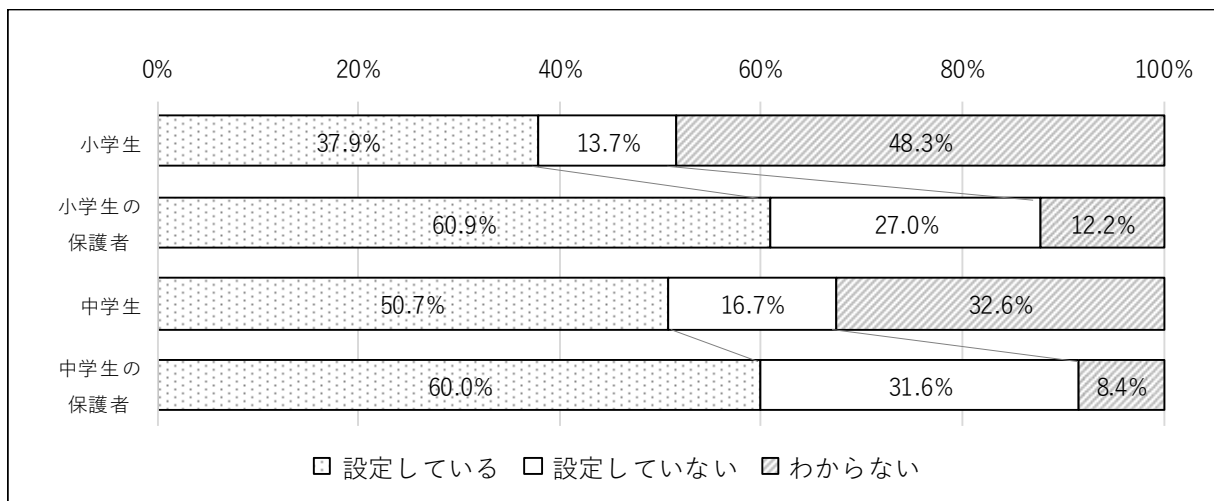
小学生が、自分専用の情報通信機器を「持っている」と回答した割合と、小学生の保護者が、同様の問いに「持っている」と回答した割合に約20%の差があります。中学生においても同様の傾向がみられることから、児童生徒と保護者では、機器の所有に対する理解に差があります。

#### (2) インターネットトラブルの経験の状況



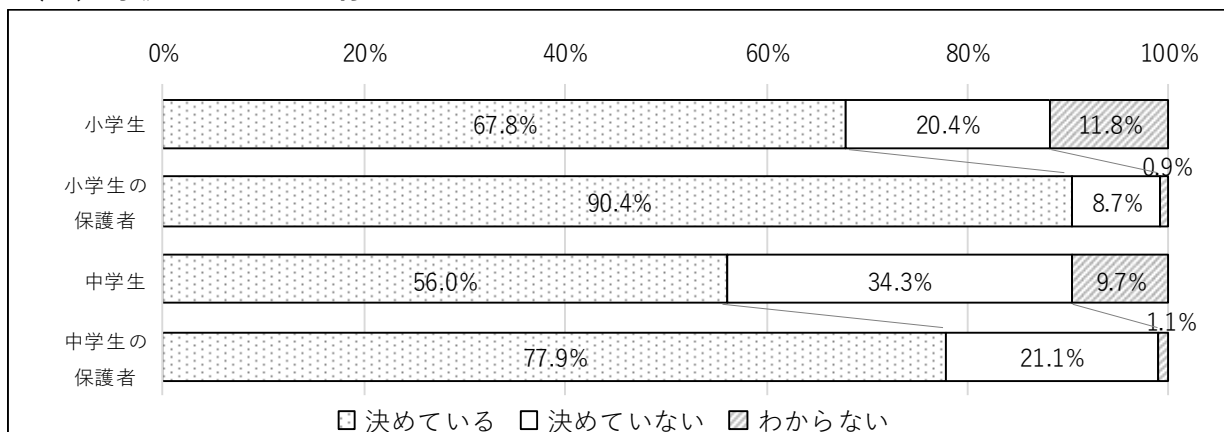
小学生の保護者は、当該小学生よりもトラブルが「ない」と回答している割合が高い傾向にあります。一方、中学生の保護者は、当該中学生よりもトラブルが「ある」と回答している割合が高い傾向にあります。

### (3) フィルタリングやペアレンタルコントロールの設定状況



小学生・中学生とその保護者では、フィルタリング等の設定状況について、回答の割合に大きな差があり、設定状況について、理解の差が生じていることが伺えます。

### (4) 家庭内ルールの有無

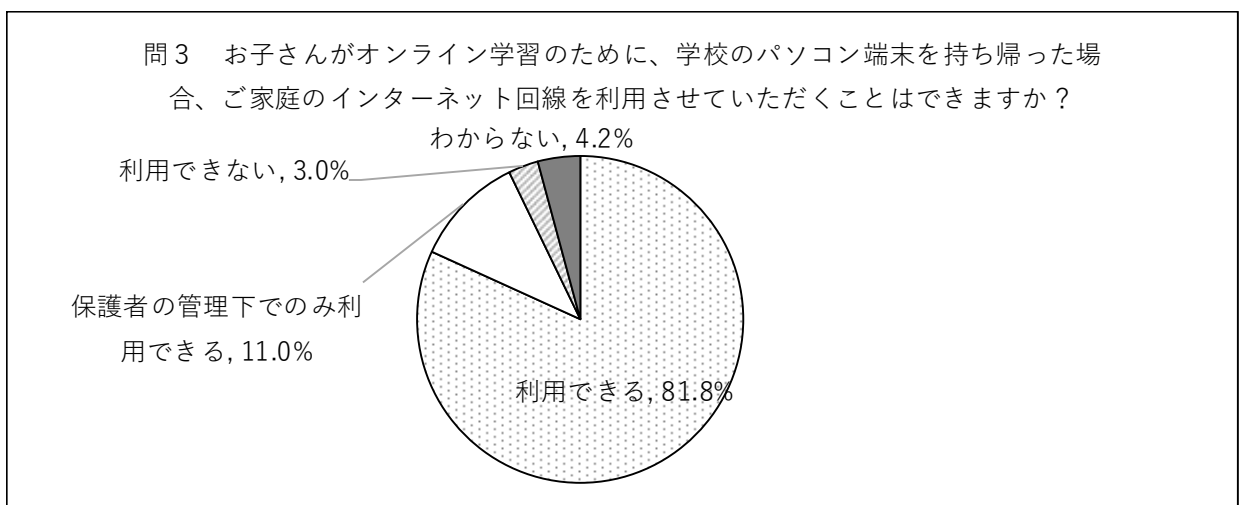
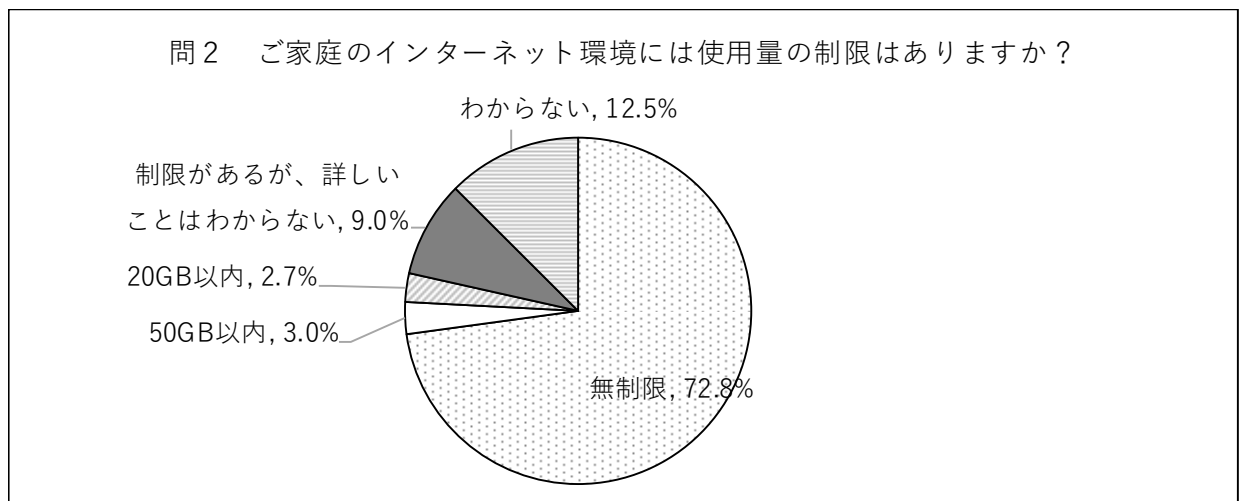
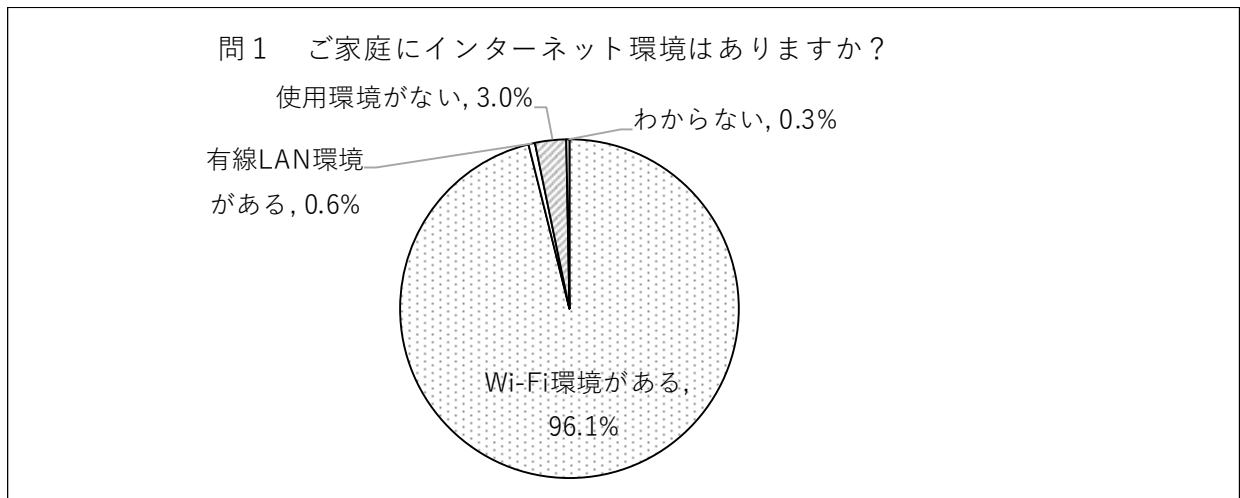


小中学生とその保護者で、家庭内ルールを「決めている」と回答した割合を比較すると、大きな差があります。例えば、保護者は利用のルールを設定しているが、小学生・中学生本人はそれらについて、十分に理解できていない可能性があります。



#### 4 家庭でのオンライン学習に関するアンケート

士別市青少年指導センターでは、士別市教育委員会と連携し、保護者の方々を対象に、ご家庭の通信状況等のアンケートにご協力いただきました。この内容については今後のオンライン学習等の検討材料として、教育委員会に情報を提供しています。



### III まとめ

本調査は、スマートフォンをはじめとする児童生徒の情報通信機器（以下、「情報機器」）の所有率をはじめ、利用内容や家庭内でのルール等について、児童生徒及びその保護者を対象として実態を把握するために実施しました。

集計結果では、情報機器を所有（専用・共有）していると回答した割合が、前回調査時よりも高い傾向にあり、機器の種類は小学生では携帯ゲーム機やタブレットの割合が高く、中学生になると、そのほかにスマートフォンなど、家庭外で利用しやすい機器の所有割合が高くなっていく傾向が見えてきました。

また、利用内容については、小学生は主にゲームや動画視聴だったものが、中学生では、そのほかにSNSなどの割合が高くなっていることから、学齢が高くなるにつれて利用の目的が多岐にわたる傾向となっています。

こうしたなかで、前回調査と比べて利用時間が、長くなっている状況にあり、休みの日においては、平日よりもさらに長くなっています。

また、情報機器所有者の7.7%の児童生徒が、「インターネット関係のトラブルにまきこまれそうになったことがある」または「あるかもしれない」という体験をしていることが明らかとなり、前回調査と比べてその割合が増加しています。

保護者アンケートでは、子どもが情報機器の所有（専用・共有）していると回答した割合が、9割を超えている一方で、それらの情報機器にフィルタリング等の設定をしていないと答えた保護者が、通信機器の活用の幅が広がる中学生の保護者においても3割近くいる傾向にあります。さらに、子どもが情報機器を1人で使い始めた学齢が、就学前から始まっているなど、低年齢の傾向がみられます。

また、児童生徒と保護者アンケートの比較では、回答の傾向に大きな差が見られる項目があり、特にフィルタリングの設定や家庭内での利用のルールについては、家庭内での共通理解とルールの徹底が必要であると考えられます。

今後のSociety5.0を見据え、ICTやAI、AoTなどのさらなる進展によって、児童生徒の情報機器との関わりはさらに広く、深くなることが予想され、それらを使用する時間の増加や利用可能な場所が、一層広範囲になっていくことも想定されます。さらに、情報機器を使い始める年齢の低年齢化が、ますます進むことも考えられます。

青少年が、安全・安心に最新の情報通信機器等を利用していく環境づくりのためには、学校はもとより、地域社会や家庭教育での理解促進が不可欠です。

引き続き、家庭内ルールの設定促進やSNSなどの適切な利用に関する情報提供と啓発活動が必要であり、本アンケートの結果についても、しっかりと学校・家庭・関係機関等で共有・連携することにより、それぞれの取組をさらに展開し、青少年の健全な育成を図っていくことが望まれます。

## IV 資料

### (1) 児童生徒アンケート

#### スマートフォン等情報通信機器の利用に関するアンケート（児童生徒用）

あなたの日ごとの情報通信機器の利用について、以下の質問に答えてください。7月21日（水）までの回答に協力してください。  
※「情報通信機器」はスマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコン、インターネットにつながるゲーム、音楽プレーヤーなど、インターネットを利用できる機器のことです。

\*必須

問1 あなたが通っている学校は？\*

- 土別小学校
- 土別南小学校
- 上土別小学校
- 多喜小学校
- 瀧根別小学校
- 糸魚小学校
- 土別中学校
- 土別南中学校
- 上土別中学校
- 朝日中学校

問2 あなたの学年は？\*

- 小学5年生
- 小学6年生
- 中学1年生
- 中学2年生
- 中学3年生

問3 あなたは情報通信機器を持っていますか？※「専用」と「共用」（ほかの人と一緒に使っている）の両方を持っている方は「専用」にチェックしてください。\*

- 自分専用のものを持っている。
- 保護者と共用している。
- 兄弟や姉妹と共有している。
- そのほか（おじいちゃんやおばあちゃん）の人と共有している。
- 情報通信機器を持っていない。⇒以上で質問は終了です

問3で情報通信機器を「もっている」「共有している」と答えた方にお答えいただきます。

問4 あなたが「もっている」または「誰かと共有している」情報通信機器を選んでください。（いくつ選んでもかまいません）\*

- スマートフォン
- 子ども向けスマートフォン
- スマートフォン以外の携帯電話
- 契約切れスマートフォン
- ノートパソコン
- デスクトップパソコン
- タブレット
- 学習用タブレット
- 2 in 1パソコン（ノートパソコンやタブレットとして使用できるもの）
- 携帯ゲーム機
- 据置型ゲーム機
- 携帯音楽プレーヤー
- その他:

問5 平日（月～金）に学校授業以外で情報通信機器を利用している1日の時間はどれぐらいですか？\*

- 1時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 2時間以上3時間未満
- 3時間以上4時間未満
- 4時間以上5時間未満
- 5時間以上

問6 休みの日(土日祝日)に情報通信機器を利用している1日の時間はどれぐらいですか？ \*

- 1時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 2時間以上3時間未満
- 3時間以上4時間未満
- 4時間以上5時間未満
- 5時間以上

問7 情報通信機器をつかって、何をしていますか？(いくつ選んでもかまいません) \*

- SNSなどを活用した交流や会話のやりとり
- ニュースを見る
- 情報の検索
- 地図や交通案内を利用する
- 音楽を聴く
- 動画を見る
- 電子書籍(小説・マンガなど)を読む
- ゲームをする
- ショッピングやオークションを利用する
- 勉強やオンライン学習で利用する
- その他:

問8 あなたは情報通信機器をつかっていて、トラブル(自分の心を傷つけられる目にあう、お金の請求がくる、会ったことのない人に写真を送るなど)に巻き込まれたり、巻き込まれそうになったことがありますか？ \*

- ある、あった
- あるかもしれない、あったかもしれない
- ない、なかった
- わからない

問9 あなたが使用している情報通信機器には、フィルタリング(有害なサイトに接触しないためのサービス)やペアレンタルコントロール(年齢制限をかけるなど)が設定されていますか？ \*

- 設定している
- 設定していない
- わからない

問10 あなたの家庭では、情報通信機器の利用について、家庭のルールを決めていますか？ \*

- 決めている
- 決めていない⇒以上で質問は終了です
- わからない⇒以上で質問は終了です

問10で「家庭内ルールを決めている」と回答した方に伺います。

問11 家庭のルールは、どのような内容ですか？(いくつ選んでもかまいません) \*

- 時刻のルール(「9時以降は使わない」「朝は使わない」など)
- 時間のルール(「2時間以内など」)
- 利用場所のルール(「部屋にもちこまない」「寝室ではつかわない」など)
- お金についてのルール(「ゲームで課金をしない」など)
- SNS等の情報発信のルール(「個人情報を書き込まない」など)
- 有害情報に接触しないためのルール(「フィルタリングを外さない」など)
- トラブル解決のためのルール(「困ったことは保護者に相談する」など)
- その他:

問12 あなたは家庭のルールを守っていますか？ \*

- 守っている
- 守っていない

## (2) 保護者アンケート

### スマートフォン等情報通信機器の利用に関するアンケート（児童生徒用）

あなたの日ごろの情報通信機器の利用について、以下の質問に教えてください。7月21日（水）までの回答に協力してください。  
※「情報通信機器」～スマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコン、インターネットにつながるゲーム、音楽プレーヤーなど、インターネットを利用できる機器のことです。

\*必須

問1 あなたが通っている学校は？\*

- 土別小学校
- 土別南小学校
- 上土別小学校
- 多寄小学校
- 温根別小学校
- 糸魚小学校
- 土別中学校
- 土別南中学校
- 上土別中学校
- 朝日中学校

問2 あなたの学年は？\*

- 小学5年生
- 小学6年生
- 中学1年生
- 中学2年生
- 中学3年生

問3 お子さんは情報通信機器を持っていますか？※「専用」と「共用」の両方を所持している方は「専用」にチェックをしてください。\*

- 自分専用のものを持っている。
- 保護者と共有している。
- 兄弟や姉妹と共有している。
- そのほか（おじいちゃんやおばあちゃん）の人と共有している。
- 情報通信機器を持っていない。

問3で情報通信機器を「もっている」または「共有している」と答えられた方にお答えいただきます。

問4 お子さんが「もっている」または「誰かと共有している」情報通信機器を選んでください。（複数回答可）\*

- スマートフォン
- 子ども向けスマートフォン
- スマートフォン以外の携帯電話
- 契約切れスマートフォン
- ノートパソコン
- デスクトップパソコン
- タブレット
- 学習用タブレット
- 2 in 1パソコン（ノートパソコンやタブレットとして使用できるもの）
- 携帯ゲーム機
- 据置型ゲーム機
- 携帯音楽プレーヤー
- その他:

問5 お子さんに情報通信機器を持たせた理由はなんですか？（複数回答可）\*

- 子どもとの連絡を取れるようにするため
- 子どもの安全のため
- 子どもが音楽を聴いたり、ゲームをしたりするため
- 子どもが欲しいといったから
- 子どもの友達も持っているから
- 便利だから
- その他:

問6 お子さんは、おおむね何学年から一人で情報通信機器を使用していますか？ \*

- 就学前から
- 小学1年生から
- 小学2年生から
- 小学3年生から
- 小学4年生から
- 小学5年生から
- 小学6年生から
- 中学1年生から
- 中学2年生から
- 中学3年生から
- わからない

問7 お子さんが情報通信機器をつかっていて、トラブル（自分の心を傷つけられる目にあう、お金の請求がくる、会ったことのない人に写真を送るなど）に巻き込まれたり、巻き込まれそうになったことがありますか？ \*

- ある、あった
- あるかもしれない、あったかもしれない
- ない、なかった
- わからない

問8 お子さんが使用している情報通信機器には、フィルタリング（有害なサイトに接触しないためのサービス）やペアレンタルコントロール（年齢制限をかけるなど）が設定されていますか？ \*

- 設定している
- 設定していない
- わからない

問9 あなたの家庭では、情報通信機器の利用について、家庭のルールを決めていますか？ \*

- 決めている
- 決めていない
- わからない

問9で「家庭内ルールを決めている」と回答した方に伺います。

問10 家庭のルールは、どのような内容ですか？（複数回答可） \*

- 時刻のルール（「9時以降は使わない」「朝は使わない」など）
- 時間のルール（「2時間以内など」）
- 利用場所のルール（「部屋にもちこまない」「寝室ではつかわない」など）
- お金についてのルール（「ゲームで課金をしない」など）
- SNS等の情報発信のルール（「個人情報を書き込まない」など）
- 有害情報に接触しないためのルール（「フィルタリングを外さない」など）
- トラブル解決のためのルール（「困ったことは保護者に相談する」など）
- その他:

問11 お子さんは家庭のルールを守っていますか？ \*

- 守っている
- 守っていない

#### 家庭でのオンライン学習に関するアンケート

教育委員会では、学校で使用しているパソコン端末を、長期休業中（夏休み、冬休みなど）や新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる学校休業等にご家庭へ持ち帰り、オンラインで学習を行うことを検討しています。今後の検討材料として、ご家庭の通信状況等についてアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

問1 ご家庭にインターネット環境はありますか？ \*

- Wi-Fiで使用できる環境がある
- Wi-Fiはないが、有線LANで使用できる環境がある
- インターネットを使用できる環境がない
- わからない

問2 ご家庭のインターネット環境には使用量の制限はありますか？ \*

- 無制限
- 50ギガバイト以内
- 20ギガバイト以内
- 制限があるが、詳しいことはわからない
- わからない

問3 お子さんがオンライン学習のために、学校のパソコン端末を持ち帰った場合、ご家庭のインターネット回線を利用させていただくことはできますか？ \*

- 利用できる
- 保護者の管理下でのみ利用できる
- 利用できない
- わからない

問4 お子さんが家庭でオンライン学習を行う場合、保護者の皆さんが不安に思うことや事前に確認したいことはありますか？（複数回答可） \*

- 端末の故障や破損時の対応及び補償
- 端末のインターネット環境への接続方法
- トラブル時の問い合わせ先
- 学習以外の動画視聴やゲームの利用の規制
- 電気料や通信料の負担
- 長時間の使用による健康状態（視力や姿勢など）の変化
- 不安や確認したいことはない
- その他:

### (3)『青少年健全育成に関する標語』入賞作品

士別市青少年指導センターでは、市内中学生を対象に、青少年が安心して明るく生活できる健全な社会環境づくりの推進、家族のふれあいや命を大切にする心の育成、事故や事件の防止、いじめの未然防止など、青少年の健全育成を図ることを目的に、標語コンクールを実施しています。

これまでの入賞作品には、情報通信機器の利用に関する内容もありますので、アンケートの関連資料として掲載します。

#### 令和3年度

賞	作 品	氏名	学校・学年
最優秀	「大丈夫？」 その一言で 救われる	猪瀬 楓	南中・2
優 秀	ハッキリと 断る勇気 身につけて	菊地 華恋	南中・1
〃	人と人 挨拶で咲く 笑顔の花	後藤田 柊斗	上士中・3
佳 作	考えよう 家族のことや 友のこと	大西 杏奈	士中・2
〃	なにげない いつもの日々に ありがとう	大西 絢斗	士中・3
〃	ありがとう 小さい声でも 伝えよう	林 歩菜	士中・3
〃	あいさつは 心をつなぐ 宝物	尾形 敦斗	士中・3
〃	助け合い ふれ合う心 地域の輪	北村 佑樹	南中・2
〃	コロナ禍で 心の距離 密接に	後藤 侑雅	南中・3
〃	優しい君の いいね一つで 笑顔無限	佐和田 映人	朝日中・2
〃	「ありがとう」 目から伝わる 愛(eye)メッセージ	多羽田 なのは	朝日中・3

#### 令和2年度

賞	作 品	氏名	学校・学年
最優秀	あなたの手 その手で誰かが 救われる	岡山 綾莉	南中・1
優 秀	会話から 心繋がる 人と人	高橋 夏希	南中・3
〃	伝えよう 感謝の気持ちと 優しさを	北村 小百合	士中・2
佳 作	一言で 命の重さ 0になる	宮本 芽	士中・1
〃	気をつけて クリック1つで 手遅れに	尾形 葵麻依	士中・1
〃	たまには言おう いつもは言えぬ ありがとう	富長 龍樹	士中・2
〃	あいさつで みんなつながる 笑顔の輪	三好 琉斗	士中・2
〃	ちょっとだけ ぐっとおさえて その気持ち	今井 隆平	南中・3
〃	ネットじゃない 自分の居場所を 見つけよう	三好 笑子	朝日中・3
〃	LINEより 会って伝える 本当の気持ち	吉田 由奈	上士中・1
〃	迫る影 フィルター付けて 照らし出せ	藤原 すばる	上士中・2